

テック インフラ Tech Infraだより vol.10

IoTで健康増進 人もニャンコもハイテク装備でデータ蓄積

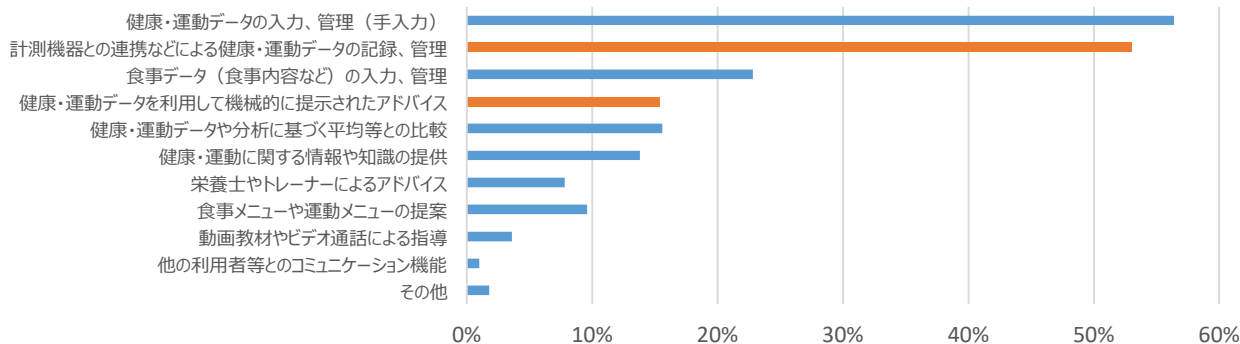
2018年12月7日

ネットにつながった各種機器を活用した健康管理が拡大
ハイテク化が進むにつれ、より精緻で大量の計測データを生成

IoTで健康増進への取り組みが拡大中

時は、人生100年時代。スマート・フォン片手にジムでトレーニングに励むシニアの方を多く見かける世の中になってきました。少しずつではありますが、IoTつまり様々なモノがインターネットに接続する仕組みを活用し、センサーが組み込まれた腕時計型端末・体重計・歯ブラシ・枕・衣服・靴・トイレ等を用いて健康管理に役立てる取り組みが拡大しつつあります。クラウド（データ・センター）に蓄積されたデータと組み合わせることで分析結果やアドバイスを表示したり、保険料を割引くサービスも登場し、機器のハイテク化とも相まってデータ量は増える一方です。

最も利用している健康・スポーツ関連アプリ・サービス機能

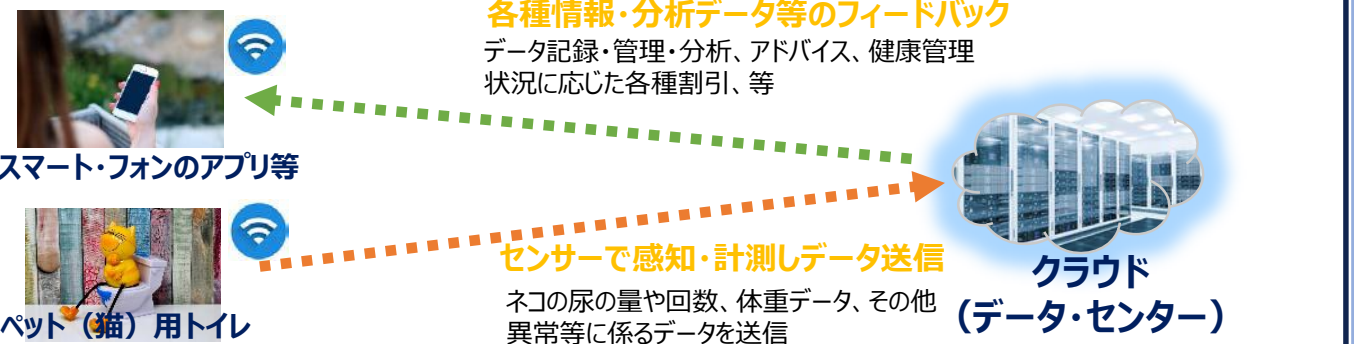


出所：消費者庁第26回インターネット消費者取引連絡会（2017年9月27日）配布資料「健康・スポーツ関連アプリ・サービスに関するアンケート結果」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

ネコの健康管理のためにも IoTが使われる時代に

ペットの長寿化に伴い、健康管理のためにIoTを活用する動きは、ペットの世界にも拡大しています。2018年夏に相次いでスタートしたIoT機器・サービスは必見でしょう。ネコ用トイレを活用し、腎臓機能障害を患いやすいネコのための健康管理サービスも活用されています。「世界ネコの日」8月8日に発売された某商品については、ネコの顔を自動的に認識する機能も備え、複数のネコを飼っているケースにも対応しているようです。イヌ派の方には、ウェアラブル機器を用いてイヌの心拍数・呼吸数や自律神経バランスを計測・推計するサービスに関心があるでしょうか。何れにせよ、ペットの健康管理機器・サービスも、より高度化・多機能化が進むことでしょう。いつの間にか、ヒトもペットも、健康管理には日々刻々と生成・蓄積されるデータが欠かせない時代になっているということでしょうか。

IoTを活用したペットの健康関連サービスの事例



上記イラスト等はイメージです。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会